

東京都医師会臨時記者会見

東京都医師会副会長 角田 徹

東京都医師会の先生方へ

- 会員である約640の病院、約10000の診療所等のうち、新型コロナウイルス診療検査医療機関は3200以上（全3505施設）、ワクチン接種医療機関も5700（全6149施設）を数えます
- この1年半にわたり、一般診療・コロナ診療・ワクチン接種などに、全力で当たっていただいております、疲労困憊の様は十分承知しています
- しかし災害に匹敵するレベルのこの感染の波を抑えるため、感染症法第16条2第1項に基づく国・都からの要請のもと、**9月の1ヶ月間、更なるご協力**をお願いしなければなりません
- この1ヶ月間で、都民（国民）・都（国）・医療関係者が一丸となって、この状況を克服いたしましょう！

①地区医師会：	特別区 31 (23区)	多摩地区 16 (26市4町村)	47
②大学医師会：13大学 (杏林大学は三鷹市医師会に所属)			12
③都立病院医師会：8病院			1
		合計	60

会員総数 (令和3年8月31日現在) 20779名

①A会員 (病院・診療所の開設者・管理者)	10183名 (49.0%)
②B会員 (勤務医)	4300名余 (約20%)
③大学医師会員 (正・特別)	6200名余 (約30%)

東京都医師会以外の医師の方々へ

- 東京にいる医師数は約45000人（行政職や研究者、引退された方も含む）
- 都内の全病院数は約640、診療所等は全部で約13700
- 当会への所属に関わらず、新型コロナ診療検査医療機関への登録、ワクチン接種医療機関としてのご活躍、また一般診療・コロナ診療・ワクチン接種などに、全力で当たっていただいていること感謝いたします
- 災害に匹敵するこの感染を乗り越えるため、**9月の1ヶ月間、私たちと一緒に、更なるご協力**をお願いします
- ご協力の際には地域の医師会へのご相談を

行政へ

- 新規感染者数を減らすことが唯一の対策です
- 感染機会減少（人流抑制）のため、実効性のある徹底した施策を実現してください
- 個人における感染予防の徹底を支援し、ワクチン接種の継続と拡充も必須です
- 既存のコロナ専用病床の稼働率改善、それを超える中等症患者等への臨時医療施設の増設を！
- **医療機関は頑張りますが、9月の1ヶ月間が限度です！**

都民（国民）の方々へ

- 新規感染者数を減らすことが唯一の対策です
- 感染力は、在来型の約2.25倍以上（一人から4～5人に感染させる可能性）と言われおり、家庭内感染が感染経路では最多です。持ち込まないこと、拡げないことが極めて重要です
- 感染機会減少（人流抑制）のため、個人における感染予防の徹底とワクチン接種をお願いします
- **医療機関も9月の1ヶ月間はさらに頑張ります！**
- **都民の方々も共に1ヶ月間、一緒に頑張りましょう！**